

スリランカにスタッフ

きょう出発 2年間、避難民を治療

アムダ

医療民間活動団体(NGO)「アムダ」(本部・岡山市)は三日、長年の民族

対立による紛争が続いたス

リランカに和平復興プロセ

スの一環として医療スタッ

フを派遣することを明らかにした。菅波茂代表(51)ら四人が四日に出発、同国内三か所に医療拠点を置き、

巡回診療を行う。

同国では二〇〇二年二月、政府と反政府武装組織の和平合意が成立。和平復興支援の日本政府代表を務める明石康・日本紛争予防センター会長が、医療体制の不備が問題となっていることから、知り合いの菅波

代表を通じて現地への医療スタッフ派遣を要請した。

菅波代表のほか、浜田祐子調整員(30)、石沢睦夫調整員(66)、ボランティアの看護師黒石幸恵さん(27)が現地入りし、西部のコロンボに事務所を開設。菅波代表は約一週間で帰国するが、その後もアムダのスリランカ支部や日本政府と連絡を取りながら、さらに十人程度のスタッフを派遣、約二年間にわたって避難民などの治療にあたる。